

目次

口 絵	
発刊に際して	
宜野湾市教育委員会 教育長 普天間 朝光	
発刊によせて	
宜野湾市史編集委員会 委員長 仲村 元惟	
目次	
凡例	
第一部 行政文書にみる戦後初期の宜野湾	
第一章 再定住 ……………	23
解題……………	23
第一節 沖縄・宜野湾の概況 ……………	36
一 沖縄民政府資料……………	36
二 宜野湾村概況……………	43
第二節 宜野湾村への転入 ……………	52
一 人口動態（1946～1949）……………	52
二 引き揚げ資料……………	61
三 人口動態（1950～1953）……………	68
四 離島出身者調査……………	77
第三節 村民分散状況 ……………	89
第四節 基地と居住 ……………	145
一 軍用地調査資料……………	145
二 建築状況……………	151
三 暴風被害……………	154
四 “一マイル制限”……………	159
五 居住許可申請……………	166
六 普天間飛行場……………	167
七 撤去・立退き……………	173
第二章 軍作業 ……………	180
解題……………	180
第一節 労務状況 ……………	192
一 年令別人口調査……………	192
二 労務異動状況……………	200
三 労務実態状況……………	211

四	その他の労務状況資料	227
第二節	軍作業	229
一	カンパン住込者	229
二	軍作業員募集	246
三	生活状況調査	251
四	「戦果」	254
第三節	労務供出	257
一	労務供出	257
二	労務供出状況報告	267
第四節	一九五〇年以降	279
一	一九五〇年国勢調査	279
二	業態別戸数人口可働者調	287
三	字別産業状況、生産状況	289
第三章	地方自治	290
解題		290
第一節	戦後村政の始動	301
一	村政委員会の設置	301
第二節	市町村長及び議員の公選	307
一	軍政府布告、沖縄民政府資料	307
二	宜野湾村長選挙(一九四八年)	309
三	宜野湾村議会議員選挙(一九四八年)	312

四	村議会の設置	315
五	沖縄群島知事選挙	319
六	沖縄群島議会議員選挙	324
七	宜野湾村長選挙(一九五〇年)	325
八	宜野湾村議会議員選挙(一九五〇年)	329
九	立法院議員選挙	332
第三節	天願事件	336
第四節	行政区域その他	346
一	野嵩区・普天間区	346
二	行政区域の設定	349
三	普天間二区の新設	352
四	村役所の建築	358
第四章	教育・文化	362
解題		362
第一節	教育の再開	375
一	初等学校の再開	375
二	実業高等学校の設立	381
三	6・3・3制度の実施	383
四	図書館設置申請	385
五	成人学校	387
六	その他育英制度	398

ランドリーでの軍作業 當山富美……………654

米軍基地として接収された我が家

伊佐幸一……………656

知恵を振り絞った戦後

伊佐興信……………661

Babyと呼ばれて

浦井芳子……………664

汗まみれ泥まみれの復興

呉屋幸亀……………667

自治会長として支えた伊佐の戦後

呉屋佐四郎……………671

十四歳の少年避難民、家族との別れと再会

宮城善正……………673

行けなかった軍作業

島袋全助……………682

学校には行かず軍作業へ

田里友喜……………684

野嵩ハイスクールに通って

仲村春栄……………686

AJトラック運転手として

仲村春静……………689

米兵と挙げた戦果

仲村春珍……………692

耕作中の不発弾処理

佐喜真慎徳……………696

基地を前にしての生活

宮城秀子……………698

命懸けの畑仕事

宮城ヨシ……………700

愛知での農作業

多和田良子……………702

第四章 飛行場の東……………679

解説……………679

生活と勉学の両立 玉那覇清仁……………704

家族のために一生懸命だった 玉那覇祐正……………707

シャツで作った洋服 渡慶次賢興……………711

家族のために 渡慶次賢興……………713

GMCに揺られて 松本幸繁……………717

普天間からふるさとに通って 宮城仁政……………720

ユイマール精神 宮城智恵子……………723

難渋した土地調査 宮城豊吉……………725

高校に通いながら軍作業へ 宮城正松……………730

共働きの軍作業 米須清賢……………733

軍作業よりも農業 米須清行……………735

第五章 飛行場の南……………737

解説……………737

我如古でのクリーニング業 山本チヨ……………740

米兵の侵入を恐れて 伊佐全宗……………742

我如古から佐真下に戻って 仲宗根千代……………743

トラック運転手と電気屋として 石川仁一……………745

山原と宜野湾での教員生活 比嘉俊子……………749

真栄原の治安維持のために 平安座唯正……………751

青年会の結成と教員生活 天久勇吉……………757

洗濯作業とメスホール 崎間初子……………759

親切にしてくれた米兵と軍作業 銘荊ハル……………762
ドライバーとして様々な車を運転して

伊波盛傳……………765

楽しいみなPAY DAY 伊波みつ子……………775

八歳の時に迎えた終戦と戦後 石川信一……………777

生活を支えた花売り 仲本菊子……………779

ためらいの中での軍作業 仲本正助……………782

第六章 飛行場の西……………785

解説……………785

戦後の大山を見つめて 伊佐眞徳……………788

「テークミー」とコザ高校に通学 伊佐徳次郎……………792

テニアンでの経験を活かしたドライバー業 伊佐周光……………795

区民総出で取り組んだ大山の再建 宮城徳義……………800

宮里初子……………805

大山小学校で教鞭をふるって 伊差川正哲……………807

区長として取り組んだ公民館建設 島袋キク……………811

忘れられない看護

戦後の苦しい生活とハウスマイド

比嘉君子……………814

引き揚げと戦後の生活 仲村ハルエ……………817

キャンプブーンで軍作業を始めて 松門正一……………819

充実した収容所生活 宮里敏子……………824

宜野湾・沖縄戦後史年表……………827

ご協力いただいた方がた・協力機関

宜野湾市史編集委員会・戦後資料編専門委員・

宜野湾市史編集事務局

編集後記